

目 次

1. 研究者名簿

2. 研究サブグループ

3. 総括研究報告

主任研究者 久保俊一

4. 研究成果の刊行に関する一覧

5. 分担研究報告

A. 疫学調査による患者数の把握および発生要因の解明

(疫学) 疫学調査サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー: 廣田良夫、福島若葉

(1) 特発性大腿骨頭壊死症の関連要因に関する系統的レビュー

福島若葉、阪口元伸、廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)

(2) 定点モニタリングシステムによる特発性大腿骨頭壊死症の記述疫学

新患者についての10年間の集計

福島若葉、廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)

藤岡幹浩、久保俊一 (京都府立医科大学大学院医学研究科運動器機能再生外科学)

(3) 定点モニタリングシステムによる特発性大腿骨頭壊死症の記述疫学

平成17年～19年の集計結果

福島若葉、廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)

藤岡幹浩、久保俊一 (京都府立医科大学大学院医学研究科運動器機能再生外科学)

(4) 特発性大腿骨頭壊死症の発生関連要因に関する

多施設共同症例・対照研究(計画)

福島若葉、阪口元伸、廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)

(5) 特発性大腿骨頭壊死症の発生要因 多施設共同症例・対照研究

阪口元伸、福島若葉、廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学)

田中 隆 (医療法人朋愛会 朋愛病院)

山本卓明、神宮司誠也 (九州大学大学院医学研究院 整形外科学分野)

西井 孝、菅野伸彦 (大阪大学大学院医学研究科 器官制御外科学講座)

大園健二 (独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院)

李 勝博 (独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター)

兼氏 歩、松本忠美 (金沢医科大学 運動機能病態学)

堀内博志、小林千益 (信州大学医学部 運動機能学講座)

川崎雅史、長谷川幸治 (名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科学)

寺西 正、松野丈夫 (旭川医科大学・整形外科)

藤岡幹浩、久保俊一（京都府立医科大学大学院医学研究科 運動器機能再生外科学）
高岡邦夫（大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科）

B. 病態解析

(病態) 臓器移植後大腿骨頭壊死症サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー：長谷川幸治

(病態) ステロイドの微小循環への作用サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー：小林千益

(病態) 動物モデルサブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー：神宮司誠也、山本卓明

(1) 腎移植後大腿骨頭壊死症発生率の最近20年間の動向

後藤 毅、藤岡幹浩、高橋謙治、上島圭一郎、栗林正明、柴谷匡彦、久保俊一
(京都府立医大大学院医学研究科 運動器機能再生外科学)

(2) 肝移植後の大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折の一例

岩崎賢優、山本卓明、本村悟朗、池村 聡、岩本幸英 (九州大学 整形外科)

(3) ステロイド性骨壊死発生に対するNOの影響についての検討

西田顕二郎、山本卓明、池村 聡、神宮司誠也、岩本幸英 (九州大学医学部 整形外科)

(4) SHRSP 大腿骨頭壊死研究及びヒト大腿骨骨髓脂肪細胞研究

熊谷謙治、尾崎 誠、宮田倫明、穂積 晃、坂本和隆、後藤久貴、野崎義博、進藤裕幸
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 発生分化機能再建学講座 構造病態整形外科学)

(5) 内分泌器官としての骨髓脂肪細胞 各種 adipokine の遺伝子発現および

グルココルチコイドによる PAI-1 分泌変化に関する検討

穂積 晃、尾崎 誠、熊谷謙治、坂本和隆、後藤久貴、進藤裕幸 (長崎大学整形外科)

(6) 血管内皮機能を標的とした特発性大腿骨頭壊死症の予防・治療法の検討

ピタバスタチンならびにスピロラク톤の効果

赤池雅史 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 循環器内科学)
粟飯原賢一、松本俊夫
(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 生体情報内科学)

(7) ION における脂肪細胞の役割に関する研究

第8報：骨髓内脂肪組織由来間葉系細胞の脂肪分化に対するピタバスタチンの影響
重松正森、佛淵孝夫 (佐賀大学医学部 整形外科)

(8) 大量ステロイド薬誘発性血管内皮細胞障害・アポトーシスの CNP による制御に関する研究

田中良哉、岡田洋右、谷川隆久 (産業医科大学医学部第一内科学講座)

(9) T2*強調 dynamic MRI によるステロイド単独投与家兔骨壊死モデルの大腿骨血流評価

高尾正樹、西井孝、坂井孝司、花之内健仁、中原一郎、塩見俊行、津田晃佑、

- 吉川秀樹、菅野伸彦（大阪大学大学院医学研究科 整形外科）
中村宣雄（協和会病院 整形外科）
- (10) ステロイド性骨壊死家兎モデルにおける骨髄内循環の検討
小平博之、天正恵治（信州大学医学部運動機能学講座）
堀内博志（厚生連松代病院整形外科）
小林千益（諏訪赤十字病院整形外科）
- (11) 電磁場刺激によるステロイド投与後骨壊死発生予防効果
石田雅史、藤岡幹浩、栗林正明、久保俊一
（京都府立医大大学院医学研究科 運動器機能再生外科学）
- (12) ビタミン E の骨壊死抑制効果の検討
栗林正明、藤岡幹浩、高橋謙治、新井祐志、石田雅史、後藤 毅、久保俊一
（京都府立医大大学院医学研究科 運動器機能再生外科学）
- (13) 日本白色家兎に対する酸化ストレス誘発剤を用いた骨壊死誘発実験 第 2 報
三秋恒平、兼氏 歩、市堰 徹、杉森端三、北村憲司、福井清数、松本忠美
（金沢医科大学 整形外科）
- (14) ステロイド投与家兎における抗酸化ビタミンを用いた骨壊死予防の検討
三上友明、市堰 徹、兼氏 歩、杉森端三、福井清数、北村憲司、
中川慎太郎、三秋恒平、松本忠美（金沢医科大学 整形外科）
- (15) 酸化誘発剤の単回投与によるラットにおける病理組織学的検討
中川慎太郎、市堰 徹、兼氏 歩、杉森端三、三秋恒平、
北村憲司、福井清数、三上友明、松本忠美（金沢医科大学 整形外科）
- (16) 酸化ストレスラット骨壊死モデルの組織学的検討
坂井孝司、西井 孝、中村宣雄、高尾正樹、花之内健仁、中原一郎、塩見俊行、
津田晃佑、吉川秀樹、菅野伸彦（大阪大学大学院医学研究科 整形外科）
- (17) 骨壊死動物モデル組織検討会のまとめ
骨壊死動物モデルの定義、特徴の文献的検討
高尾正樹、西井孝、坂井孝司、花之内健仁、中原一郎、塩見俊行、津田晃佑、
中村宣雄、吉川秀樹、菅野伸彦（大阪大学大学院医学研究科 整形外科）
- (18) マウス骨細胞アポトーシスにおける p53 の関与
田中 栄（東京大学医学部附属病院 整形外科）
大熊千晶、懸田健史（順天堂大学医学部 整形外科）
- (19) マウス骨壊死モデルの作成とその解析
田中 栄（東京大学医学部附属病院 整形外科）
大熊千晶、懸田健史（順天堂大学医学部 整形外科）
- (20) ラットの大腿骨頭壊死モデル作製

名越 智、岡崎俊一郎、加谷光規、舘田健児、佐々木幹人、山下俊彦
(札幌医大整形外科)

C. 予防法の開発

(予防) 血液凝固能抑制、脂質代謝異常サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー：藤岡幹浩、長澤浩平、山路 健

(予防) 遺伝子解析サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー：高橋謙治

(1) 高脂血症治療薬を用いたステロイド性大腿骨頭壊死症予防法の研究

石田雅史、藤岡幹浩、平田哲朗、栗林正明、後藤 毅、久保俊一

(京都府立医大大学院医学研究科 運動器機能再生外科学)

津田裕士

(順天堂東京江東高齢者医療センター 総合診療科)

関谷文男、山路 健 (順天堂大学医学部膠原病内科)

田中良哉、岡田洋右 (産業医科大学 第一内科学)

三森経世、野島崇樹

(京都大学大学院医学研究科 内科学講座 臨床免疫学)

竹内 勤、天野宏一

(埼玉医科大学総合医療センター リウマチ膠原病内科)

川人 豊 (京都府立医大大学院医学研究科 生体機能制御学)

黒田 毅

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 内部環境医学講座(第二内科))

(2) ワルファリンとスタチンによるステロイド性大腿骨頭壊死症の予防研究

長澤浩平、多田芳史、小荒田秀一 (佐賀大学医学部膠原病リウマチ内科)

堀内孝彦 (九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学)

末松榮一 (国立病院機構九州医療センター膠原病内科)

(3) 全身性エリテマトーデス患者におけるステロイド性

大腿骨頭壊死症に対する抗高脂血症剤の予防効果の検討

関谷文男、山路 健、高崎芳成 (順天堂大学医学部 膠原病内科)

梁 広石、津田裕士 (順天堂東京江東高齢者医療センター 内科)

(4) ステロイド性大腿骨頭壊死症の遺伝子多型解析

酸化ストレス関連物質を対象にして

栗林正明、藤岡幹浩、高橋謙治、新井祐志、平田哲朗、石田雅史、後藤 毅、

久保俊一 (京都府立医大大学院医学研究科 運動器機能再生外科学)

里見佳子、奥田 司 (京都府立医大大学院医学研究科 分子生化学)

秋岡清一、岡本雅彦、吉村了勇

(京都府立医大大学院医学研究科 移植・再生制御外科学)

(5) CYP3A 活性の個体差を利用したステロイド性大腿骨頭壊死症の予防に関する研究

岩切健太郎、金城養典、福永健治、箕田行秀、岩城啓好、高岡邦夫

(大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科)

小田 裕 (大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科)

D. 治療指針の確立

1) 診断基準、病型分類、病期分類

(治療) 診断基準、病型分類、病期分類サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー:大園健二、神宮司誠也

- (1) 大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折の発生頻度に関する病理組織学的検討
山本卓明、岩本幸英 (九州大学 整形外科)
- (2) 大腿骨頭壊死症と鑑別を要する疾患の臨床病理像
山本卓明、本村悟朗、池村聡、岩崎賢優、岩本幸英 (九州大学 整形外科)
- (3) 両側の急速破壊型股関節症に認められた骨壊死巣に関する検討
山本卓明、岩本幸英 (九州大学 整形外科)
- (4) 一過性大腿骨頭萎縮症の再発と考えられた症例
池村 聡、山本卓明、神宮司誠也、中島康晴、馬渡太郎、岩本幸英
(九州大学 整形外科)
- (5) 60歳以上で特発性大腿骨頭壊死を疑われた症例の
画像および病理組織学的所見の再検討
池村 聡、山本卓明、本村悟朗、中島康晴、馬渡太郎、岩本幸英
(九州大学 整形外科)
- (6) 大腿骨頭壊死症に対する単純および造影 MRI 所見の比較検討
池村 聡、山本卓明、中島康晴、馬渡太郎、本村悟朗、岩崎賢優、岩本幸英
(九州大学 整形外科)
- (7) 大腿骨頭壊死症と大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折における造影 MRI 所見の比較
岩崎賢優、山本卓明、本村悟朗、池村 聡、岩本幸英 (九州大学 整形外科)
- (8) 大腿骨頭壊死症と大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折の造影 MRI 所見
宮西圭太、神宮司誠也 (九州労災病院 整形外科)
- (9) 特発性大腿骨頭壊死症における TRAP 陽性細胞の発現様式
坂井孝司、西井 孝、李 衛哲、中村宣雄、高尾正樹、吉川秀樹、菅野伸彦
(大阪大学大学院医学研究科 整形外科)
- (10) 特発性大腿骨頭壊死症における reparative reaction の組織学的検討

坂井孝司、李 衛哲、西井 孝、中村宣雄、高尾正樹、花之内健仁、中原一郎、塩見俊行、
津田晃佑、吉川秀樹、菅野伸彦
(大阪大学大学院医学研究科 整形外科)

2)合理的な治療法の確立

(治療) 骨頭温存手術サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー:渥美 敬

(治療) 人工物置換術サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー:小林千益、松本忠美

(治療) コンピュータ手術支援、シミュレーションサブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー:菅野伸彦

(治療) 再生医療サブグループ平成19～20年度総括報告書

サブグループリーダー:安永裕司

(1) ステージ4の大腿骨頭壊死症に対して行われた骨切り術の成績

神宮司誠也、水内秀城、中島康晴、山本卓明、馬渡太郎、西田顕二郎、池村 聡、
岩本幸英 (九州大学大学院医学研究院整形外科)

(2) 20歳以下の大腿骨頭壊死症患者に対する大腿骨頭前方回転骨切り

池村 聡、山本卓明、神宮司誠也、中島康晴、馬渡太郎、岩本幸英
(九州大学 整形外科)

(3) 大腿骨頭栄養動脈の骨外血行路 一関節内旋位での血行の途絶について-

柘原俊久、渥美 敬、玉置 聡、朝倉靖博、中西 亮、渡辺 実
(昭和大学藤が丘病院整形外科)

(4) 大腿骨頭壊死症に対する大腿骨転子間弯曲内反骨切り術および

自家骨移植による早期壊死体積の回復

長谷川幸治、増井徹男、山口 仁、加納稔也、関 泰輔

(名古屋大学大学院医学系研究科機能構築医学専攻運動・形態外科学整形外科)

坪井真幸 (愛知県済生会病院整形外科)

(5) 特発性大腿骨頭壊死症(ION)研究班所属整形外科での

IONに対する人工物置換術の登録監視システム

治療 (人工物置換術)サブグループ

小林千益 (諏訪赤十字病院整形外科)

松本忠美 (金沢医科大学 運動機能病態学)

佛淵孝夫 (佐賀大学 整形外科)

大園健二 (独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院)

菅野伸彦 (大阪大学大学院医学研究科 器官制御外科学講座)

- (6) 特発性大腿骨頭壊死症に対するパイポラ型人工骨頭置換術の
中期成績および QOL
本村悟朗、山本卓明、中島康晴、馬渡太郎、池村聡、岩崎賢優、岩本幸英
(九州大学 整形外科)
- (7) Mayo 骨温存型人工股関節の骨反応の検討
中西亮介、渥美 敬、柁原俊久、玉置 聡、加藤英治、渡辺 実 (昭和大学藤が丘病院)
- (8) 多断面再構築(MPR)画像ソフトウェアを用いた三次元 MR 画像上での
簡便な骨頭回転骨切り術シミュレーション法
小山 毅、高尾正樹、西井 孝、坂井孝司、花之内健仁、塩見俊行、
中原一郎、北田 誠、津田晃佑、中村宣雄、吉川秀樹、菅野伸彦
(大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学)
- (9) 多断面再構築(MPR)画像ソフトウェアを用いた三次元 MR 画像上での
簡便な骨頭回転骨切り術シミュレーション法 (第二報)
小山 毅、高尾正樹、西井 孝、坂井孝司、花之内健仁、塩見俊行、
中原一郎、北田 誠、津田晃佑、中村宣雄、吉川秀樹、菅野伸彦
(大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学)
- (10) 特発性大腿骨頭壊死症に対する骨髄細胞移植
安永裕司 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科人工関節・生体材料学)
山崎琢磨、寺山弘志、石川正和、越智光夫
(広島大学大学院医歯薬学総合研究科整形外科)
- (11) 特発性大腿骨頭壊死症における骨髄単核球分画中の CD34 陽性細胞数の検討
山崎琢磨、寺山弘志、石川正和、濱木隆成、越智光夫
(広島大学大学院医歯薬学総合研究科整形外科)
安永裕司 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科人工関節・生体材料学)
- (12) ステロイドが骨壊死後の骨再生に及ぼす影響
高野玲子、徳永邦彦、近藤直樹、伊藤知之、遠藤直人
(新潟大学大学院医歯学研究科機能再建講座整形外科学分野)

研究成果の刊行に関する一覧

主任研究者:久保俊一

- Shibatani M, Fujioka M, Arai Y, Takahashi K, Ueshima K, Okamoto M, et al. Degree of corticosteroid treatment within the first 2 months of renal transplantation has a strong influence on the incidence of osteonecrosis of the femoral head. *Acta Orthop* 2008;79:631-6.
- Ishida M, Fujioka M, Takahashi KA, Arai Y, Kubo T. Electromagnetic fields: a novel prophylaxis for steroid-induced osteonecrosis. *Clin Orthop Relat Res* 2008;466:1068-73.
- Kuribayashi M, Fujioka M, Takahashi KA, Arai Y, Hirata T, Nakajima S, et al. Combination analysis of three polymorphisms for predicting the risk for steroid-induced osteonecrosis of the femoral head. *J Orthop Sci* 2008;13:297-303.
- Inoue A, Takahashi KA, Mazda O, Arai Y, Saito M, Kishida T, et al. Comparison of anti-rheumatic effects of local RNAi-based therapy in collagen induced arthritis rats using various cytokine genes as molecular targets. *Mod Rheumatol* 2008.
- Tonomura H, Takahashi KA, Mazda O, Arai Y, Shin-Ya M, Inoue A, et al. Effects of heat stimulation via microwave applicator on cartilage matrix gene and HSP70 expression in the rabbit knee joint. *J Orthop Res* 2008;26:34-41.
- Sakao K, Takahashi KA, Mazda O, Arai Y, Tonomura H, Inoue A, et al. Enhanced expression of interleukin-6, matrix metalloproteinase-13, and receptor activator of NF-kappaB ligand in cells derived from osteoarthritic subchondral bone. *J Orthop Sci* 2008;13:202-10.
- Okumura H, Shiba D, Kubo T, Yokoyama T. P2X7 receptor as sensitive flow sensor for ERK activation in osteoblasts. *Biochem Biophys Res Commun* 2008;372:486-90.
- Oka Y, Kim WC, Yoshida T, Hirashima T, Mouri H, Urade H, et al. Efficacy of titanium dioxide photocatalyst for inhibition of bacterial colonization on percutaneous implants. *J Biomed Mater Res B Appl Biomater* 2008;86B:530-40.
- Yoshida T, Kim WC, Tsuchida Y, Hirashima T, Oka Y, Kubo T. Experience of bone bridge resection and bone wax packing for partial growth arrest of distal tibia. *J Orthop Trauma* 2008;22:142-7.
- Watanabe N, Narita W, Namura T, Ito H, Nishimura T, Kubo T. Anatomical assessment of the vastus medialis oblique muscle in patients with osteoarthritis of the knee. *J Arthroplasty* 2008;23:287-92.
- Tokugawa S, Sakuma K, Fujiwara H, Hirata M, Oda R, Morisaki S, et al. The expression pattern of PKC θ in satellite cells of normal and regenerating muscle in the rat. *Neuropathology* 2008.
- Taniguchi D, Tokunaga D, Hase H, Mikami Y, Hojo T, Ikeda T, et al. Evaluation of lateral instability of the atlanto-axial joint in rheumatoid arthritis using dynamic open-mouth view radiographs. *Clin Rheumatol* 2008;27:851-7.
- Takubo Y, Morihara T, Namura T, Nakagawa H, Takeshita H, Horii M, et al. Anchor hole enlargement after arthroscopic Bankart repair using absorbable suture anchors: a report of three cases. *J Shoulder Elbow Surg* 2008;17:e16-8.
- Sakabe T, Murata H, Konishi E, Takeshita H, Ueda H, Matsui T, et al. Evaluation of clinical outcomes and prognostic factors for synovial sarcoma arising from the extremities. *Med Sci Monit* 2008;14:CR305-10.
- Nagasawa K, Noguchi M, Ikoma K, Kubo T. Static and dynamic biomechanical properties of the regenerating rabbit Achilles tendon. *Clin Biomech (Bristol, Avon)* 2008;23:832-8.
- Murata H, Horie N, Matsui T, Akai T, Ueda H, Oshima Y, et al. Clinical usefulness of thallium-201 scintigraphy and magnetic resonance imaging in the diagnosis of chondromyxoid fibroma. *Ann Nucl Med* 2008;22:221-4.
- Mori G, Tokunaga D, Takahashi KA, Hojo T, Fujiwara H, Arai Y, et al. Maximum intensity projection as a tool to diagnose early rheumatoid arthritis. *Mod Rheumatol* 2008;18:247-51.
- Koto K, Horie N, Kimura S, Murata H, Sakabe T, Matsui T, et al. Clinically relevant dose of zoledronic acid inhibits

spontaneous lung metastasis in a murine osteosarcoma model. *Cancer Lett* 2008.

- ♦ Kajikawa Y, Morihara T, Sakamoto H, Matsuda K, Oshima Y, Yoshida A, et al. Platelet-rich plasma enhances the initial mobilization of circulation-derived cells for tendon healing. *J Cell Physiol* 2008;215:837-45.
- ♦ Iwata Y, Morihara T, Tachiiri H, Kajikawa Y, Yoshida A, Arai Y, et al. Behavior of host and graft cells in the early remodeling process of rotator cuff defects in a transgenic animal model. *J Shoulder Elbow Surg* 2008;17:101S-7S.
- ♦ Hirose Y, Chiba K, Karasugi T, Nakajima M, Kawaguchi Y, Mikami Y, et al. A functional polymorphism in THBS2 that affects alternative splicing and MMP binding is associated with lumbar-disc herniation. *Am J Hum Genet* 2008;82:1122-9.
- ♦ Arai Y, Hara K, Takahashi T, Urade H, Minami G, Takamiya H, et al. Evaluation of the vascular status of autogenous hamstring tendon grafts after anterior cruciate ligament reconstruction in humans using magnetic resonance angiography. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc* 2008;16:342-7.
- ♦ Arai Y, Hara K, Fujiwara H, Minami G, Nakagawa S, Kubo T. A new arthroscopic-assisted drilling method through the radius in a distal-to-proximal direction for osteochondritis dissecans of the elbow. *Arthroscopy* 2008;24:237 e1-4.
- ♦ Hirata, T., Fujioka, M., Takahashi, K.A., Arai, Y., Asano, T., Ishida, M., Kuribayashi, M., Akioka, K., Okamoto, M., Yoshimura, N., Satomi, Y., Nishino, H., Fukushima, W., Hirota, Y., Nakajima, S., Kato, S. and Kubo, T., 'ApoB C7623T polymorphism predicts risk for steroid-induced osteonecrosis of the femoral head after renal transplantation'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (3):199-206.
- ♦ Hirata, T., Fujioka, M., Takahashi, K.A., Asano, T., Ishida, M., Akioka, K., Okamoto, M., Yoshimura, N., Satomi, Y., Nishino, H., Hirota, Y., Nakajima, S., Kato, S. and Kubo, T., 'Low molecular weight phenotype of Apo(a) is a risk factor of corticosteroid-induced osteonecrosis of the femoral head after renal transplant'. *J Rheumatol*, 2007, 34 (3):516-522.
- ♦ Tamura, K., Nakajima, S., Hirota, Y., Takahashi, K.A., Fujioka, M., Kubo, T., Iwatani, Y. and Ozono, K., 'Genetic association of a polymorphism of the cAMP-responsive element binding protein-binding protein with steroid-induced osteonecrosis after kidney transplantation'. *J Bone Miner Metab*, 2007, 25 (5):320-325.
- ♦ Hirata, M., Sakuma, K., Okajima, S., Fujiwara, H., Inashima, S., Yasuhara, M. and Kubo, T., 'Increased expression of neuregulin-1 in differentiating muscle satellite cells and in motoneurons during muscle regeneration'. *Acta Neuropathol*, 2007, 113 (4):451-459.
- ♦ Kajikawa, Y., Morihara, T., Watanabe, N., Sakamoto, H., Matsuda, K., Kobayashi, M., Oshima, Y., Yoshida, A., Kawata, M. and Kubo, T., 'GFP chimeric models exhibited a biphasic pattern of mesenchymal cell invasion in tendon healing'. *J Cell Physiol*, 2007, 210 (3):684-691.
- ♦ Maki, M., Miyazaki, H., Nakajima, K., Yamane, J., Niisato, N., Morihara, T., Kubo, T. and Marunaka, Y., 'Chloride-dependent acceleration of cell cycle via modulation of Rb and cdc2 in osteoblastic cells'. *Biochem Biophys Res Commun*, 2007, 361 (4):1038-1043.
- ♦ Matsui, T.A., Murata, H., Sakabe, T., Sowa, Y., Horie, N., Nakanishi, R., Sakai, T. and Kubo, T., 'Sulforaphane induces cell cycle arrest and apoptosis in murine osteosarcoma cells in vitro and inhibits tumor growth in vivo'. *Oncol Rep*, 2007, 18 (5):1263-1268.
- ♦ Matsui, T.A., Sowa, Y., Murata, H., Takagi, K., Nakanishi, R., Aoki, S., Yoshikawa, M., Kobayashi, M., Sakabe, T., Kubo, T. and Sakai, T., 'The plant alkaloid cryptolepine induces p21WAF1/CIP1 and cell cycle arrest in a human osteosarcoma cell line'. *Int J Oncol*, 2007, 31 (4):915-922.
- ♦ Mio, F., Chiba, K., Hirose, Y., Kawaguchi, Y., Mikami, Y., Oya, T., Mori, M., Kamata, M., Matsumoto, M., Ozaki, K., Tanaka, T., Takahashi, A., Kubo, T., Kimura, T., Toyama, Y. and Ikegawa, S., 'A functional polymorphism in COL11A1, which encodes the alpha 1 chain of type XI collagen, is associated with susceptibility to lumbar disc herniation'. *Am J Hum Genet*, 2007, 81 (6):1271-1277.
- ♦ Miyamoto, Y., Mabuchi, A., Shi, D., Kubo, T., Takatori, Y., Saito, S., Fujioka, M., Sudo, A., Uchida, A., Yamamoto, S.,

- Ozaki, K., Takigawa, M., Tanaka, T., Nakamura, Y., Jiang, Q. and Ikegawa, S., 'A functional polymorphism in the 5' UTR of GDF5 is associated with susceptibility to osteoarthritis'. *Nat Genet*, 2007, 39 (4):529-533.
- ◆ Murata, H., Matsui, T., Horie, N., Sakabe, T., Konishi, E. and Kubo, T., 'Angioleiomyoma with calcification of the heel: report of two cases'. *Foot Ankle Int*, 2007, 28 (9):1021-1025.
 - ◆ Nagae, M., Ikeda, T., Mikami, Y., Hase, H., Ozawa, H., Matsuda, K., Sakamoto, H., Tabata, Y., Kawata, M. and Kubo, T., 'Intervertebral disc regeneration using platelet-rich plasma and biodegradable gelatin hydrogel microspheres'. *Tissue Eng*, 2007, 13 (1):147-158.
 - ◆ Oshima, Y., Matsuda, K., Yoshida, A., Watanabe, N., Kawata, M. and Kubo, T., 'Localization of Estrogen Receptors alpha and beta in the Articular Surface of the Rat Femur'. *Acta Histochem Cytochem*, 2007, 40 (1):27-34.
 - ◆ Saito, M., Mazda, O., Takahashi, K.A., Arai, Y., Kishida, T., Shin-Ya, M., Inoue, A., Tonomura, H., Sakao, K., Morihara, T., Imanishi, J., Kawata, M. and Kubo, T., 'Sonoporation mediated transduction of pDNA/siRNA into joint synovium in vivo'. *J Orthop Res*, 2007, 25 (10):1308-1316.
 - ◆ Saito, M., Tsuji, Y., Murata, H., Kanemitsu, K., Makinodan, A., Ikeda, T., Konishi, E. and Kubo, T., 'Hibernoma of the right back'. *Orthopedics*, 2007, 30 (6):495-496.
 - ◆ Sakabe, T., Murata, H., Tokumoto, Y., Koto, K., Matsui, T., Horie, N. and Kubo, T., 'Soft tissue mass of the thigh: presentation'. *Skeletal Radiol*, 2007, 36 (12):1177.
 - ◆ Sakabe, T., Murata, H., Tokumoto, Y., Koto, K., Matsui, T., Horie, N. and Kubo, T., 'Soft tissue mass of the thigh: diagnosis and discussion'. *Skeletal Radiol*, 2007, 36 (12):1179-1180.
 - ◆ Takahashi, K.A., Saito, M., Inoue, S., Arai, Y., Kim, W.C. and Kubo, T., 'Slipped capital femoral epiphysis first occurring in early childhood with subsequent development on the other side in later childhood'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (4):395-397.
 - ◆ Tonomura, H., Takahashi, K.A., Mazda, O., Arai, Y., Shin-Ya, M., Inoue, A., Honjo, K., Hojo, T., Imanishi, J. and Kubo, T., 'Effects of heat stimulation via microwave applicator on cartilage matrix gene and HSP70 expression in the rabbit knee joint'. *J Orthop Res*, 2007.
 - ◆ Kobayashi, S., Kubo, T. and Takaoka, K., '[Hemiarthroplasty and total hip arthroplasty for idiopathic osteonecrosis of the femoral head]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (6):939-946.
 - ◆ 久保俊一, 藤岡幹浩, 杉山肇, 稲葉裕. 【整形外科における最近の進歩と展望】 骨盤・股関節疾患. *整形外科* 2008;59:775-82.
 - ◆ 久保俊一, 三上靖夫, 藤岡幹浩. 【"難病"診療の最前線】 骨・関節系疾患"難病"診療の最前線. *京都府立医科大学雑誌* 2008;117:633-9.
 - ◆ 藤岡幹浩, 久保俊一. 大腿骨頭壊死の病態と治療. *整形外科* 2008;59:1471-9.
 - ◆ 上島圭一郎, 藤岡幹浩, 高橋謙治, 堀井基行, 井上重洋, 久保俊一. 【股関節関節唇損傷の診断と治療】 放射状MRIによる寛骨臼関節唇損傷の診断. *整形・災害外科* 2008;51:399-405.
 - ◆ 上島圭一郎, 藤岡幹浩, 久保俊一. 【下肢荷重関節の最新画像診断】 特発性大腿骨頭壊死症の最新画像診断. *関節外科* 2008;27:706-13.
 - ◆ 後藤毅, 藤岡幹浩, 上島圭一郎, 久保俊一. 【リウマチ・膠原病のすべて】 リウマチ・膠原病の合併症 特発性骨壊死症. *からだの科学* 2008:151-4.
 - ◆ 栗林正明, 藤岡幹浩, 上島圭一郎, 高橋謙治, 平田哲朗, 久保俊一. 【整形外科基礎研究の Up to Date】 ステロイド性大腿骨頭壊死症の遺伝子解析. *関節外科* 2008;27:257-61.
 - ◆ 栗林正明, 藤岡幹浩, 上島圭一郎, 高橋謙治, 平田哲朗, 久保俊一. 分子レベルからみた整形外科疾患 ステロイド性大腿骨頭壊死症の遺伝子解析. *整形・災害外科* 2008;51:880-1.
 - ◆ 久保俊一, 上島圭一郎: 特発性大腿骨頭壊死症, よくわかる病態生理 10 運動器疾患(松尾 理監修, 久保俊一編集), 128-131, 日本医事新報社, 東京, 2007.12.16.

- 久保俊一, 上島圭一郎: ペルテス病, よくわかる病態生理 10 運動器疾患(松尾 理監修, 久保俊一編集), 132-134, 日本医事新報社, 東京, 2007.12.16.
- 久保俊一, 上島圭一郎: キーンバック病, よくわかる病態生理 10 運動器疾患(松尾 理監修, 久保俊一編集), 135-136, 日本医事新報社, 東京, 2007.12.16.
- 久保俊一, 藤岡幹浩, 石田雅史: 特集 大腿骨頭壊死症 ~疫学 病態から治療まで~ Review ステロイド性大腿骨頭壊死症の臨床病態, Clin Calcium, 17: 856-862, 2007.
- 藤岡幹浩, 新井祐志, 栗林正明, 中島滋郎, 久保俊一: 特集 大腿骨頭壊死症 ~疫学 病態から治療まで~ Topics 大腿骨頭壊死症の遺伝子解析, Clin Calcium, 17: 894-900, 2007.
- 藤岡幹浩, 久保俊一: 股関節の痛み, NEW MOOK 整形外科 No.20(越智隆弘, 菊池臣一編), 208-215, 金原出版, 東京, 2007. 1. 31.
- 藤岡幹浩, 久保俊一: 大腿骨頭壊死症・一過性大腿骨頭骨萎縮症のMRI診断, 図解よくわかる整形外科MRI診断実践マニュアル(伊藤博元編), 168-179, 全日本病院出版会, 東京, 2007. 3. 1.
- 木戸健介, 藤岡幹浩, 高橋謙治, 新井祐志, 森原 徹, 上島圭一郎, 久保俊一: 人工股関節全置換術後に発症した腸恥滑液包炎による外腸骨静脈圧排から下肢の腫脹をきたした1例, 日リウマチ・関節外会誌, 26: 47-51, 2007.
- 上島圭一郎, 藤岡幹浩, 高橋謙治, 井上重洋, 今井寛, 久保俊一: Lord 型 Mark I, Mark II 人工股関節の長期成績, 整・災外, 50: 1233-1238, 2007.
- 石田雅史, 長谷斉, 藤岡幹浩, 福井康人, 木戸健介, 久保俊一: 前方進入法により良好な矯正位を得た Prader-Willi 症候群に伴う側彎症の1手術例, 日リウマチ・関節外会誌, 26: 57-61, 2007.
- 井上敦夫, 新井祐志, 久保俊一: 関節外科における内視鏡手術, 京都府立医科大学雑誌 116(10):667-674, 2007.
- 藤田伸弥, 高宮尚武, 新井祐志, 藤戸典典, 樋口哲生, 久保俊一: 膝蓋骨下方脱臼に大腿骨顆部骨折を合併した1例, 整形外科, 59: 55-59, 2008.
- 齊藤正純, 新井祐志, 高橋謙治, 井上敦夫, 外村 仁, 阪尾 敬, 寺内 竜, 久保俊一: sonoporation 法を用いた関節内への遺伝子導入法の開発, (特集)変形性関節症研究の最近のトピックス, 関節外科, 26: 772-5, 2007.

分担研究者:高岡邦夫

- Masada T, Iwakiri K, Oda Y, Kaneshiro Y, Iwaki H, Ohashi H, et al. Increased hepatic cytochrome P4503A activity decreases the risk of developing steroid-induced osteonecrosis in a rabbit model. J Orthop Res 2008;26:91-5.
- Iwakiri K, Oda Y, Kaneshiro Y, Iwaki H, Masada T, Kobayashi A, et al. Effect of simvastatin on steroid-induced osteonecrosis evidenced by the serum lipid level and hepatic cytochrome P4503A in a rabbit model. J Orthop Sci 2008;13:463-8.
- Minoda Y, Kobayashi A, Sakawa A, Aihara M, Tada K, Sugama R, et al. Wear particle analysis of highly crosslinked polyethylene isolated from a failed total hip arthroplasty. J Biomed Mater Res B Appl Biomater 2008;86B:501-5.
- Ohta Y, Nakagawa K, Imai Y, Katagiri T, Koike T, Takaoka K. Cyclic AMP enhances Smad-mediated BMP signaling through PKA-CREB pathway. J Bone Miner Metab 2008;26:478-84.
- Nomura-Furuwatari C, Wakitani S, Hashimoto Y, Imai Y, Ohta Y, Nakagawa K, et al. Expression profiles of phosphodiesterase 4D splicing variants in osteoblastic cells. J Bone Miner Metab 2008;26:152-8.
- Iwakiri K, Iwaki H, Minoda Y, Ohashi H, Takaoka K. Alumina inlay failure in cemented polyethylene-backed total hip arthroplasty. Clin Orthop Relat Res 2008;466:1186-92.
- Iwakiri K, Iwaki H, Kobayashi A, Minoda Y, Kagiya H, Kadoya Y, et al. Characteristics of Hylamer polyethylene particles isolated from peri-prosthetic tissues of failed cemented total hip arthroplasties. J Biomed Mater Res B Appl Biomater 2008;85:125-9.
- Hoshino M, Egi T, Terai H, Namikawa T, Kato M, Hashimoto Y, et al. Repair of long intercalated rib defects in dogs using recombinant human bone morphogenetic protein-2 delivered by a synthetic polymer and beta-tricalcium

phosphate. *J Biomed Mater Res A* 2008.

- ♦ Wakitani S, Kawaguchi A, Tokuhara Y, Takaoka K. Present status of and future direction for articular cartilage repair. *J Bone Miner Metab* 2008;26:115-22.
- ♦ Uemura T, Kazuki K, Hashimoto Y, Takaoka K. Skiing-induced rupture of the extensor pollicis longus tendon: a report of three cases. *Clin J Sport Med* 2008;18:292-4.
- ♦ Nakata N, Kira Y, Yabunaka Y, Takaoka K. Prevention of venous thrombosis by preoperative glycyrrhizin infusion in a rat model. *J Orthop Sci* 2008;13:456-62.
- ♦ Minoda Y, Kobayashi A, Iwaki H, Sugama R, Iwakiri K, Kadoya Y, et al. Sagittal alignment of the lower extremity while standing in Japanese male. *Arch Orthop Trauma Surg* 2008;128:435-42.
- ♦ Minoda Y, Kobayashi A, Iwaki H, Ohashi H, Takaoka K. TKA Sagittal Alignment with Navigation Systems and Conventional Techniques Vary Only a Few Degrees. *Clin Orthop Relat Res* 2008.
- ♦ Kato M, Nakamura H, Terai H, Konishi S, Nagayama R, Takaoka K. Why does delay exist in the diagnosis of intradural spinal cord tumor despite the availability of MRI? *J Clin Neurosci* 2008;15:880-5.
- ♦ Kato M, Nakamura H, Suzuki E, Terai H, Wakasa K, Wakasa T, et al. Ependymal cyst in the lumbar spine associated with cauda equina compression. *J Clin Neurosci* 2008;15:827-30.
- ♦ Hoshi M, Ieguchi M, Takami M, Aono M, Taguchi S, Kuroda T, et al. Clinical problems after initial unplanned resection of sarcoma. *Jpn J Clin Oncol* 2008;38:701-9.
- ♦ Masada, T., Iwakiri, K., Oda, Y., Kaneshiro, Y., Iwaki, H., Ohashi, H. and Takaoka, K., 'Increased hepatic cytochrome P4503A activity decreases the risk of developing steroid-induced osteonecrosis in a rabbit model'. *J Orthop Res*, 2007.
- ♦ Fujita, T., Orimo, H., Inoue, T., Kaneda, K., Sakurai, M., Morita, R., Yamamoto, K., Sugioka, Y., Inoue, A., Takaoka, K., Yamamoto, I., Hoshino, Y. and Kawaguchi, H., 'Clinical effect of bisphosphonate and vitamin D on osteoporosis: reappraisal of a multicenter double-blind clinical trial comparing etidronate and alfacalcidol'. *J Bone Miner Metab*, 2007, 25 (2):130-137.
- ♦ Hashimoto, Y., Yoshida, G., Toyoda, H. and Takaoka, K., 'Generation of tendon-to-bone interface "entheses" with use of recombinant BMP-2 in a rabbit model'. *J Orthop Res*, 2007, 25 (11):1415-1424.
- ♦ Hayashi, M., Nimura, K., Kashiwagi, K., Harada, T., Takaoka, K., Kato, H., Tamai, K. and Kaneda, Y., 'Comparative roles of Twist-1 and Id1 in transcriptional regulation by BMP signaling'. *J Cell Sci*, 2007, 120 (Pt 8):1350-1357.
- ♦ Hoshino, M., Egi, T., Terai, H., Namikawa, T. and Takaoka, K., 'Regenerative repair of long intercalated rib defects using porous cylinders of beta-tricalcium phosphate: an experimental study in a canine model'. *Plast Reconstr Surg*, 2007, 119 (5):1431-1439.
- ♦ Hoshino, M., Namikawa, T., Kato, M., Terai, H., Taguchi, S. and Takaoka, K., 'Repair of bone defects in revision hip arthroplasty by implantation of a new bone-inducing material comprised of recombinant human BMP-2, Beta-TCP powder, and a biodegradable polymer: an experimental study in dogs'. *J Orthop Res*, 2007, 25 (8):1042-1051.
- ♦ Imai, Y., Kitano, T., Nakagawa, K. and Takaoka, K., 'Calcaneal apophyseal avulsion fracture'. *Arch Orthop Trauma Surg*, 2007, 127 (5):331-333.
- ♦ Iwakiri, K., Iwaki, H., Kobayashi, A., Minoda, Y., Kagiya, H., Kadoya, Y. and Takaoka, K., 'Characteristics of Hylamer polyethylene particles isolated from peri-prosthetic tissues of failed cemented total hip arthroplasties'. *J Biomed Mater Res B Appl Biomater*, 2007.
- ♦ Minoda, Y., Kobayashi, A., Iwaki, H., Sugama, R., Iwakiri, K., Kadoya, Y., Ohashi, H. and Takaoka, K., 'Sagittal alignment of the lower extremity while standing in Japanese male'. *Arch Orthop Trauma Surg*, 2007.
- ♦ Nakagawa, K., Imai, Y., Ohta, Y. and Takaoka, K., 'Prostaglandin E2 EP4 agonist (ONO-4819) accelerates BMP-induced osteoblastic differentiation'. *Bone*, 2007, 41 (4):543-548.
- ♦ Nakamura, T., Imai, Y., Matsumoto, T., Sato, S., Takeuchi, K., Igarashi, K., Harada, Y., Azuma, Y., Krust, A.,

Yamamoto, Y., Nishina, H., Takeda, S., Takayanagi, H., Metzger, D., Kanno, J., Takaoka, K., Martin, T.J., Chambon, P. and Kato, S., 'Estrogen prevents bone loss via estrogen receptor alpha and induction of Fas ligand in osteoclasts'. *Cell*, 2007, 130 (5):811-823.

- ♦ Namikawa, T., Terai, H., Hoshino, M., Kato, M., Toyoda, H., Yano, K., Nakamura, H. and Takaoka, K., 'Enhancing effects of a prostaglandin EP4 receptor agonist on recombinant human bone morphogenetic protein-2 mediated spine fusion in a rabbit model'. *Spine*, 2007, 32 (21):2294-2299.
- ♦ Taguchi, S., Namikawa, T., Taguchi, M. and Takaoka, K., 'Reconstruction of bone defects using rhBMP-2-coated devitalized bone'. *Clin Orthop Relat Res*, 2007, 461:162-169.
- ♦ Kaneshiro, Y. and Takaoka, K., '[Hepatic CYP3A activity in association with development of osteonecrosis of the femoral head]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (6):902-909.
- ♦ Kobayashi, S., Kubo, T. and Takaoka, K., '[Hemiarthroplasty and total hip arthroplasty for idiopathic osteonecrosis of the femoral head]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (6):939-946.
- ♦ Kobayashi, S., Shiraki, M. and Takaoka, K., '[Concurrent treatment of osteoporosis including vitamin K]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (11):1731-1737.

分担研究者:廣田良夫

- ♦ Shibatani M, Fujioka M, Arai Y, Takahashi K, Ueshima K, Okamoto M, et al. Degree of corticosteroid treatment within the first 2 months of renal transplantation has a strong influence on the incidence of osteonecrosis of the femoral head. *Acta Orthop* 2008;79:631-6.
- ♦ Motomura G, Yamamoto T, Miyanishi K, Kondo K, Hirota Y, Iwamoto Y. Risk Factors for Developing Osteonecrosis After Prophylaxis in Steroid-treated Rabbits. *J Rheumatol* 2008.
- ♦ Kuribayashi M, Fujioka M, Takahashi KA, Arai Y, Hirata T, Nakajima S, et al. Combination analysis of three polymorphisms for predicting the risk for steroid-induced osteonecrosis of the femoral head. *J Orthop Sci* 2008;13:297-303.
- ♦ Tanaka K, Miyake Y, Sasaki S, Ohya Y, Matsunaga I, Yoshida T, et al. Beverage consumption and the prevalence of tooth loss in pregnant Japanese women: the Osaka Maternal and Child Health Study. *Fukuoka Igaku Zasshi* 2008;99:80-9.
- ♦ Tanaka K, Miyake Y, Sasaki S, Ohya Y, Hirota Y. Maternal smoking and environmental tobacco smoke exposure and the risk of allergic diseases in Japanese infants: the Osaka Maternal and Child Health Study. *J Asthma* 2008;45:833-8.
- ♦ Ohfuji S, Fukushima W, Tanaka T, Habu D, Takeda T, Tamori A, et al. Does a late evening meal reduce the risk of hepatocellular carcinoma among patients with chronic hepatitis C? *Hepato Res* 2008;38:860-8.
- ♦ Murakami K, Miyake Y, Sasaki S, Tanaka K, Yokoyama T, Ohya Y, et al. Dietary glycemic index and load and the risk of postpartum depression in Japan: the Osaka Maternal and Child Health Study. *J Affect Disord* 2008;110:174-9.
- ♦ Matsunaga I, Miyake Y, Yoshida T, Miyamoto S, Ohya Y, Sasaki S, et al. Ambient formaldehyde levels and allergic disorders among Japanese pregnant women: baseline data from the Osaka maternal and child health study. *Ann Epidemiol* 2008;18:78-84.
- ♦ Hirota Y, Kaji M. History of influenza vaccination programs in Japan. *Vaccine* 2008;26:6451-4.
- ♦ Hirota Y, Fukushima W, Fujieda M, Ohfuji S, Maeda A. Essential tools for assessing influenza vaccine efficacy in improperly conducted studies: A Japanese perspective. *Vaccine* 2008;26:6455-8.
- ♦ Hirota Y. Ecological fallacy and scepticism about influenza vaccine efficacy in Japan: The Maebashi Study. *Vaccine* 2008;26:6473-6.
- ♦ Fukushima W, Hayashi Y, Mizuno Y, Suzuki K, Kase T, Ohfuji S, et al. Selection bias in evaluating of influenza vaccine effectiveness: A lesson from an observational study of elderly nursing home residents. *Vaccine* 2008;26:6466-9.

- ♦ Fujieda M, Maeda A, Kondo K, Fukushima W, Ohfuji S, Kaji M, et al. Influenza vaccine effectiveness and confounding factors among young children. *Vaccine* 2008;26:6481-5.
- ♦ Fukui M, Chiba K, Kawakami M, Kikuchi S, Konno S, Miyamoto M, et al. Japanese Orthopaedic Association Cervical Myelopathy Evaluation Questionnaire (JOACMEQ): part 4. Establishment of equations for severity scores. Subcommittee on low back pain and cervical myelopathy, evaluation of the clinical outcome committee of the Japanese Orthopaedic Association. *J Orthop Sci* 2008;13:25-31.
- ♦ Fukui M, Chiba K, Kawakami M, Kikuchi S, Konno S, Miyamoto M, et al. Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire. Part 3. Validity study and establishment of the measurement scale : Subcommittee on Low Back Pain and Cervical Myelopathy Evaluation of the Clinical Outcome Committee of the Japanese Orthopaedic Association, Japan. *J Orthop Sci* 2008;13:173-9.
- ♦ Tamura, K., Nakajima, S., Hirota, Y., Takahashi, K.A., Fujioka, M., Kubo, T., Iwatani, Y. and Ozono, K., 'Genetic association of a polymorphism of the cAMP-responsive element binding protein-binding protein with steroid-induced osteonecrosis after kidney transplantation'. *J Bone Miner Metab*, 2007, 25 (5):320-325.
- ♦ Hirata, T., Fujioka, M., Takahashi, K.A., Arai, Y., Asano, T., Ishida, M., Kuribayashi, M., Akioka, K., Okamoto, M., Yoshimura, N., Satomi, Y., Nishino, H., Fukushima, W., Hirota, Y., Nakajima, S., Kato, S. and Kubo, T., 'ApoB C7623T polymorphism predicts risk for steroid-induced osteonecrosis of the femoral head after renal transplantation'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (3):199-206.
- ♦ Hirata, T., Fujioka, M., Takahashi, K.A., Asano, T., Ishida, M., Akioka, K., Okamoto, M., Yoshimura, N., Satomi, Y., Nishino, H., Hirota, Y., Nakajima, S., Kato, S. and Kubo, T., 'Low molecular weight phenotype of Apo(a) is a risk factor of corticosteroid-induced osteonecrosis of the femoral head after renal transplant'. *J Rheumatol*, 2007, 34 (3):516-522.
- ♦ Fukui, M., Chiba, K., Kawakami, M., Kikuchi, S., Konno, S., Miyamoto, M., Seichi, A., Shimamura, T., Shirado, O., Taguchi, T., Takahashi, K., Takeshita, K., Tani, T., Toyama, Y., Wada, E., Yonenobu, K., Tanaka, T. and Hirota, Y., 'An outcome measure for patients with cervical myelopathy: Japanese Orthopaedic Association Cervical Myelopathy Evaluation Questionnaire (JOACMEQ): Part 1'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (3):227-240.
- ♦ Fukui, M., Chiba, K., Kawakami, M., Kikuchi, S., Konno, S., Miyamoto, M., Seichi, A., Shimamura, T., Shirado, O., Taguchi, T., Takahashi, K., Takeshita, K., Tani, T., Toyama, Y., Wada, E., Yonenobu, K., Tanaka, T. and Hirota, Y., 'Japanese Orthopaedic Association Cervical Myelopathy Evaluation Questionnaire (JOACMEQ): Part 2. Endorsement of the alternative item'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (3):241-248.
- ♦ Fukui, M., Chiba, K., Kawakami, M., Kikuchi, S., Konno, S., Miyamoto, M., Seichi, A., Shimamura, T., Shirado, O., Taguchi, T., Takahashi, K., Takeshita, K., Tani, T., Toyama, Y., Wada, E., Yonenobu, K., Tanaka, T. and Hirota, Y., 'JOA Back Pain Evaluation Questionnaire: initial report'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (5):443-450.
- ♦ Fukui, M., Chiba, K., Kawakami, M., Kikuchi, S., Konno, S., Miyamoto, M., Seichi, A., Shimamura, T., Shirado, O., Taguchi, T., Takahashi, K., Takeshita, K., Tani, T., Toyama, Y., Yonenobu, K., Wada, E., Tanaka, T. and Hirota, Y., 'Japanese Orthopaedic Association Cervical Myelopathy Evaluation Questionnaire: part 3. Determination of reliability'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (4):321-326.
- ♦ Fukui, M., Chiba, K., Kawakami, M., Kikuchi, S., Konno, S., Miyamoto, M., Seichi, A., Shimamura, T., Shirado, O., Taguchi, T., Takahashi, K., Takeshita, K., Tani, T., Toyama, Y., Yonenobu, K., Wada, E., Tanaka, T. and Hirota, Y., 'Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire. Part 2. Verification of its reliability : The Subcommittee on Low Back Pain and Cervical Myelopathy Evaluation of the Clinical Outcome Committee of the Japanese Orthopaedic Association'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (6):526-532.
- ♦ Irie, S., Fujieda, M., Ito, K., Ishibashi, M., Takamizawa, T., Ishikawa, T., Takasaki, Y., Shindo, S., Yokoyama, T., Yamashita, Y., Shibao, K., Koyanagi, H., Maeda, A. and Hirota, Y., '[Immunogenicity of trivalent-inactivated influenza vaccine among children less than 4 years old]'. *Kansenshogaku Zasshi*, 2007, 81 (3):284-290.

- Kondo, K., Hirota, Y., Kawamura, H., Miura, H., Takasugi, S., Sugioka, Y., Inoue, H., Kurosaka, M. and Iwamoto, Y., 'Factors associated with pain and functional limitation in Japanese male patients with knee osteoarthritis'. *Rheumatol Int*, 2007, 27 (12):1135-1142.
- Miyake, Y., Ohya, Y., Tanaka, K., Yokoyama, T., Sasaki, S., Fukushima, W., Ohfuji, S., Saito, K., Kiyohara, C. and Hirota, Y., 'Home environment and suspected atopic eczema in Japanese infants: the Osaka Maternal and Child Health Study'. *Pediatr Allergy Immunol*, 2007, 18 (5):425-432.
- Miyake, Y., Sasaki, S., Tanaka, K., Ohya, Y., Miyamoto, S., Matsunaga, I., Yoshida, T., Hirota, Y. and Oda, H., 'Fish and fat intake and prevalence of allergic rhinitis in Japanese females: the Osaka Maternal and Child Health Study'. *J Am Coll Nutr*, 2007, 26 (3):279-287.
- Ohfuji, S., Fujieda, M., Fukushima, W., Maeda, A. and Hirota, Y., '[Target groups for influenza vaccination]'. *Nippon Koshu Eisei Zasshi*, 2007, 54 (6):361-367.
- Fukushima, W., Ohfuji, S. and Hirota, Y., '[Epidemiology of idiopathic osteonecrosis of the femoral head in Japan]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (6):843-848.

分担研究者:進藤裕幸

- Okano K, Enomoto H, Osaki M, Takahashi K, Shindo H. Femoral head deformity after open reduction by Ludloff's medial approach. *Clin Orthop Relat Res* 2008;466:2507-12.
- Kumagai K, Motomura K, Egashira M, Tomita M, Suzuki M, Uetani M, et al. A case of progressive osseous heteroplasia: a first case in Japan. *Skeletal Radiol* 2008;37:563-7.
- Suzuki M, Kumagai K, Osaki M, Murata M, Tomita M, Miyata N, et al. Osteonecrosis of Femoral Head in the Stroke Prone Spontaneously Hypertensive Rats -Especially in Old Rats. *Clinical and Experimental Hypertension* (in press)
- Shindo H, Chigira H, Tanaka J, Kamatani N, Inoue M. Grouping preprocess to accurately extend application of EM algorithm to haplotype inference. *J Hum Genet* 2008;53:747-56.
- Okano K, Takaki M, Okazaki N, Shindo H. Bilateral incidence and severity of acetabular dysplasia of the hip. *J Orthop Sci* 2008;13:401-4.
- Okano K, Kawahara N, Chiba K, Shindo H. Radiographic joint space width in patients with Crowe Type-I dysplastic hips. *Clin Orthop Relat Res* 2008;466:2209-16.
- Okano K, Enomoto H, Osaki M, Shindo H. Rotational acetabular osteotomy with excision of the capital drop for advanced osteoarthritis secondary to developmental dysplasia of the hip. *Arch Orthop Trauma Surg* 2008;128:1117-22.
- Okano K, Enomoto H, Osaki M, Shindo H. Outcome of rotational acetabular osteotomy for early hip osteoarthritis secondary to dysplasia related to femoral head shape: 49 hips followed for 10-17 years. *Acta Orthop* 2008;79:12-7.
- Okano K, Enomoto H, Osaki M, Shindo H. Joint Congruency as an Indication for Rotational Acetabular Osteotomy. *Clin Orthop Relat Res* 2008.
- Murata, M., Kumagai, K., Miyata, N., Osaki, M. and Shindo, H., 'Osteonecrosis in stroke-prone spontaneously hypertensive rats: effect of glucocorticoid'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (3):289-295.
- Abe, K., Kumagai, K., Hayashi, T., Kinoshita, N., Shindo, H., Uetani, M. and Ishida, T., 'High-grade surface osteosarcoma of the hand'. *Skeletal Radiol*, 2007, 36 (9):869-873.
- Adachi, K., Tsurumoto, T., Yonekura, A., Nishimura, S., Kajiyama, S., Hirakata, Y. and Shindo, H., 'New quantitative image analysis of staphylococcal biofilms on the surfaces of nontranslucent metallic biomaterials'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (2):178-184.
- Inokuchi, S., Matsusaka, N., Hayashi, T. and Shindo, H., 'Feasibility and effectiveness of a nurse-led community exercise programme for prevention of falls among frail elderly people: a multi-centre controlled trial'. *J Rehabil Med*, 2007, 39 (6):479-485.

- Matsumoto, T., Tsurumoto, T., Baba, H., Osaki, M., Enomoto, H., Yonekura, A., Shindo, H. and Miyata, T., 'Measurement of advanced glycation endproducts in skin of patients with rheumatoid arthritis, osteoarthritis, and dialysis-related spondyloarthropathy using non-invasive methods'. *Rheumatol Int*, 2007, 28 (2):157-160.
- Miyamoto, C., Matsumoto, T., Sakimura, K. and Shindo, H., 'Osteogenic protein-1 with transforming growth factor-beta1: potent inducer of chondrogenesis of synovial mesenchymal stem cells in vitro'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (6):555-561.
- Okano, K., Enomoto, H., Osaki, M. and Shindo, H., 'Rotational acetabular osteotomy with excision of the capital drop for advanced osteoarthritis secondary to developmental dysplasia of the hip'. *Arch Orthop Trauma Surg*, 2007.
- 尾崎誠, 穂積晃, 進藤裕幸. 整形トピックス 内分泌器官としての骨髄脂肪細胞の研究. *整形外科* 2008;59(1):46.

分担研究者:長澤浩平

- Mitamura M, Tada Y, Koarada S, Inoue H, Suematsu R, Ohta A, et al. Cyclosporin A treatment for Japanese patients with severe adult-onset Still's disease. *Mod Rheumatol* 2008.
- Hayashi S, Tanaka M, Kobayashi H, Nakazono T, Satoh T, Fukuno Y, et al. High-resolution computed tomography characterization of interstitial lung diseases in polymyositis/dermatomyositis. *J Rheumatol* 2008;35:260-9.
- Yamaguchi K, Iwakiri R, Hara M, Kikkawa A, Fujise T, Ootani H, et al. Reflux Esophagitis and Helicobacter pylori Infection in Patients with Scleroderma. *Intern Med* 2008;47:1555-9.
- Tada Y, Koarada S, Morito F, Mitamura M, Inoue H, Suematsu R, et al. Toll-like receptor homolog RP105 modulates the antigen-presenting cell function and regulates the development of collagen-induced arthritis. *Arthritis Res Ther* 2008;10:R121.
- Tada Y, Fukuoka M, Mitamura M, Koarada S, Suematsu R, Inoue H, et al. Nocardiosis in adult-onset Still's disease and vasculitis syndrome. *Am J Med Sci* 2008;336:77-80.
- Koarada S, Tsuneyoshi N, Haruta Y, et al.: Effect of disease activity and corticosteroids on serum levels of soluble endothelial cell protein C receptor in patients with systemic lupus erythematosus. *Mod Rheumatol* in press.
- Haruta, Y., Koarada, S., Tada, Y., Mitamura, M., Ohta, A., Fukuoka, M., Hayashi, S. and Nagasawa, K., 'High expression of Toll-like receptor 4 on CD14+ monocytes in acute infectious diseases'. *Scand J Infect Dis*, 2007, 39 (6-7):577-583.
- Horiuchi, T., Kiyohara, C., Tsukamoto, H., Sawabe, T., Furugo, I., Yoshizawa, S., Ueda, A., Tada, Y., Nakamura, T., Kimoto, Y., Mitoma, H., Harashima, S., Yoshizawa, S., Shimoda, T., Okamura, S., Nagasawa, K. and Harada, M., 'A functional M196R polymorphism of tumour necrosis factor receptor type 2 is associated with systemic lupus erythematosus: a case-control study and a meta-analysis'. *Ann Rheum Dis*, 2007, 66 (3):320-324.
- Mitamura, M., Fukuoka, M., Haruta, Y., Koarada, S., Tada, Y. and Nagasawa, K., '[A case of visceral larva migrans due to *Toxocara canis* showing varied manifestations]'. *Kansenshogaku Zasshi*, 2007, 81 (3):305-308.

分担研究者:松野丈夫

- Katayama K, Matsuno T. Effects of bisphosphonates on fracture incidence and bone metabolism in rheumatoid arthritis patients in general practice taking long-term corticosteroid therapy: a retrospective study. *Clin Drug Investig* 2008;28:149-58.
- Tanino H, Ito H, Harman MK, Matsuno T, Hodge WA, Banks SA. An in vivo model for intraoperative assessment of impingement and dislocation in total hip arthroplasty. *J Arthroplasty* 2008;23:714-20.
- Jimbo S, Atsuta Y, Kobayashi T, Matsuno T. Effects of dry needling at tender points for neck pain (Japanese: katakori): near-infrared spectroscopy for monitoring muscular oxygenation of the trapezius. *J Orthop Sci* 2008;13:101-6.

- Ito H, Matsuno T, Hirayama T, Tanino H, Yamanaka Y, Minami A. Three-dimensional computed tomography analysis of non-osteoarthritic adult acetabular dysplasia. *Skeletal Radiol* 2008.
- Ito, H., Hirayama, T., Tanino, H., Matsuno, T. and Minami, A., 'Tight fit technique in primary hybrid total hip arthroplasty for patients with hip dysplasia'. *J Arthroplasty*, 2007, 22 (1):57-64.
- Ito, H., Matsuno, T., Hirayama, T., Tanino, H. and Minami, A., 'Health-related quality of life in patients with systemic lupus erythematosus after medium to long-term follow-up of hip arthroplasty'. *Lupus*, 2007, 16 (5):318-323.
- Ito, H., Matsuno, T. and Minami, A., 'Rotational acetabular osteotomy through an olier lateral u approach'. *Clin Orthop Relat Res*, 2007, 459:200-206.

分担研究者:松本俊夫

- Yagi S, Aihara K, Ikeda Y, Sumitomo Y, Yoshida S, Ise T, et al. Pitavastatin, an HMG-CoA reductase inhibitor, exerts eNOS-independent protective actions against angiotensin II induced cardiovascular remodeling and renal insufficiency. *Circ Res* 2008;102:68-76.
- Yamaguchi H, Komamura K, Choraku M, Hirono A, Takamori N, Tamura K, et al. Impact of serum insulin-like growth factor-1 on early prognosis in acute myocardial infarction. *Intern Med* 2008; 47(9):819-25.
- Miyauchi A, Matsumoto T, Shigeta H, Tsujimoto M, Thiebaud D, Nakamura T. Effect of teriparatide on bone mineral density and biochemical markers in Japanese women with postmenopausal osteoporosis: a 6-month dose-response study. *J Bone Miner Metab* 2008;26:624-34.
- Yagi S, Akaike M, Fujimura M, Ise T, Yoshida S, Sumitomo Y, et al. Infective endocarditis caused by lactobacillus. *Intern Med* 2008;47:1113-6.
- Wang W, Nishioka Y, Ozaki S, Jalili A, Verma VK, Hanibuchi M, et al. Chimeric and humanized anti-HM1.24 antibodies mediate antibody-dependent cellular cytotoxicity against lung cancer cells. *Lung Cancer* 2008.
- Endo I, Fukumoto S, Ozono K, Namba N, Tanaka H, Inoue D, et al. Clinical usefulness of measurement of fibroblast growth factor 23 (FGF23) in hypophosphatemic patients: proposal of diagnostic criteria using FGF23 measurement. *Bone* 2008;42:1235-9.
- Wang W, Nishioka Y, Ozaki S, Jalili A, Abe S, Kakiuchi S, et al. HM1.24 (CD317) is a novel target against lung cancer for immunotherapy using anti-HM1.24 antibody. *Cancer Immunol Immunother* 2008.
- Kawai S, Azuma Y, Fujii E, Furugaki K, Ozaki S, Matsumoto T, et al. Interferon-alpha enhances CD317 expression and the antitumor activity of anti-CD317 monoclonal antibody in renal cell carcinoma xenograft models. *Cancer Sci* 2008.
- Fukumoto S, Namba N, Ozono K, Yamauchi M, Sugimoto T, Michigami T, et al. Causes and differential diagnosis of hypocalcemia-- recommendation proposed by expert panel supported by ministry of health, labour and welfare, Japan. *Endocr J* 2008;55:787-94.
- Aihara, K., Azuma, H., Akaike, M., Ikeda, Y., Sata, M., Takamori, N., Yagi, S., Iwase, T., Sumitomo, Y., Kawano, H., Yamada, T., Fukuda, T., Matsumoto, T., Sekine, K., Sato, T., Nakamichi, Y., Yamamoto, Y., Yoshimura, K., Watanabe, T., Nakamura, T., Oomizu, A., Tsukada, M., Hayashi, H., Sudo, T., Kato, S. and Matsumoto, T., 'Strain-dependent embryonic lethality and exaggerated vascular remodeling in heparin cofactor II-deficient mice'. *J Clin Invest*, 2007, 117 (6):1514-1526.
- Iki, M., Morita, A., Ikeda, Y., Sato, Y., Akiba, T., Matsumoto, T., Nishino, H., Kagamimori, S., Kagawa, Y. and Yoneshima, H., 'Biochemical markers of bone turnover may predict progression to osteoporosis in osteopenic women: the JPOS Cohort Study'. *J Bone Miner Metab*, 2007, 25 (2):122-129.
- Matsumoto, T. and de Carvalho, W.B., 'Tracheal intubation'. *J Pediatr (Rio J)*, 2007, 83 (2 Suppl):S83-90.
- Matsumoto, T. and Kubodera, N., 'ED-71, a new active vitamin D3, increases bone mineral density regardless of serum 25(OH)D levels in osteoporotic subjects'. *J Steroid Biochem Mol Biol*, 2007, 103 (3-5):584-586.

- Mitsui, T., Kunishige, M., Ichimiya, M., Shichijo, K., Endo, I. and Matsumoto, T., 'Beneficial effect of tacrolimus on myasthenia gravis with thymoma'. *Neurologist*, 2007, 13 (2):83-86.
- Ozaki, S., Tanaka, O., Fujii, S., Shigekiyo, Y., Miki, H., Choraku, M., Kagawa, K., Asano, J., Takeuchi, K., Kitazoe, K., Hashimoto, T., Abe, M. and Matsumoto, T., 'Therapy with bortezomib plus dexamethasone induces osteoblast activation in responsive patients with multiple myeloma'. *Int J Hematol*, 2007, 86 (2):180-185.
- Sakamoto, M., Nakasu, M., Matsumoto, T. and Okihana, H., 'Development of superporous hydroxyapatites and their examination with a culture of primary rat osteoblasts'. *J Biomed Mater Res A*, 2007, 82 (1):238-242.
- Sekimoto, E., Ozaki, S., Ohshima, T., Shibata, H., Hashimoto, T., Abe, M., Kimura, N., Hattori, K., Kawai, S., Kinoshita, Y., Yamada-Okabe, H., Tsuchiya, M. and Matsumoto, T., 'A single-chain Fv diabody against human leukocyte antigen-A molecules specifically induces myeloma cell death in the bone marrow environment'. *Cancer Res*, 2007, 67 (3):1184-1192.
- Tanaka, Y., Abe, M., Hiasa, M., Oda, A., Amou, H., Nakano, A., Takeuchi, K., Kitazoe, K., Kido, S., Inoue, D., Moriyama, K., Hashimoto, T., Ozaki, S. and Matsumoto, T., 'Myeloma cell-osteoclast interaction enhances angiogenesis together with bone resorption: a role for vascular endothelial cell growth factor and osteopontin'. *Clin Cancer Res*, 2007, 13 (3):816-823.
- Yagi, S., Aihara, K.I., Ikeda, Y., Sumitomo, Y., Yoshida, S., Ise, T., Iwase, T., Ishikawa, K., Azuma, H., Akaike, M. and Matsumoto, T., 'Pitavastatin, an HMG-CoA Reductase Inhibitor, Exerts eNOS-Independent Protective Actions Against Angiotensin II Induced Cardiovascular Remodeling and Renal Insufficiency'. *Circ Res*, 2007.
- Yagi, S., Akaike, M., Ozaki, S., Moriya, C., Takeuchi, K., Hara, T., Fujimura, M., Sumitomo, Y., Iwase, T., Ikeda, Y., Aihara, K., Kimura, T., Nishiuchi, T., Abe, M. and Matsumoto, T., 'Improvement of cardiac diastolic function and prognosis after autologous peripheral blood stem cell transplantation in AL cardiac amyloidosis'. *Intern Med*, 2007, 46 (20):1705-1710.
- Yata K, Abe M, Matsumoto T. [Mechanisms for formation of myeloma bone disease]. *Clin Calcium* 2008;18:438-46.
- Endo I, Matsumoto T. [Bisphosphonate and mechanical stress on bone]. *Clin Calcium* 2008;18:1321-6.
- Akaike, M. and Matsumoto, T., '[Glucocorticoid-induced reduction in NO bioavailability and vascular endothelial dysfunction]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (6):864-870.
- Endo, I. and Matsumoto, T., '[Phosphatonin]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (10):1580-1584.
- Endo, I. and Matsumoto, T., '[Progress in diagnosis of and therapy for hypocalcemia: Differential diagnosis and classification of hypoparathyroidism]'. *Nippon Naika Gakkai Zasshi*, 2007, 96 (4):688-695.
- Endo, I., Matsumoto, T. and Fukumoto, S., '[Pathophysiology and classification of parathyroidism]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (8):1175-1181.

分担研究者:松本忠美

- Kabata T, Matsumoto T, Yagishita S, Wakayama T, Iseki S, Tomita K. Vascular Endothelial Growth Factor in Rabbits During Development of Corticosteroid-Induced Osteonecrosis: A Controlled Experiment. *J Rheumatol* 2008.
- Kimura H, Kaneuji A, Sugimori T, Matsumoto T. Revision total hip arthroplasty by nonmodular short and long cementless stems. *J Orthop Sci* 2008;13:335-40.
- Matsumoto, T., Kitamura, K., Ichiseki, T., Kaneuji, A. and Sugimori, T., '[Oxidative stress on idiopathic osteonecrosis]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (6):887-891.

分担研究者:渥美敬

- Nakajima T, Izumizaki M, Sekihara C, Atsumi T, Homma I. Combined effects of preceding muscle vibration and contraction on the tonic vibration reflex. *Exp Brain Res* 2009;192:211-9.
- Sekihara, C., Izumizaki, M., Yasuda, T., Nakajima, T., Atsumi, T. and Homma, I., 'Effect of cooling on thixotropic position-sense error in human biceps muscle'. *Muscle Nerve*, 2007, 35 (6):781-787.
- Atsumi T. [Bone disease with Pain. Non-traumatic osteonecrosis of the femoral head]. *Clin Calcium* 2008;18:1183-92.
- 渥美 敬, 山野賢一, 柁原俊久, 武村 康, 平沼泰成, 玉置 聡, 朝倉靖弘, 中西亮介, 加藤英治, 渡辺 実, 小原周. 発育期大腿骨頭の壊死性病変への応用 思春期の高度圧潰広範囲大腿骨頭壊死に対する大腿骨頭高度後方回転骨切り術. *臨床整形外科* 2008; 43(10):989-996.
- Atsumi, T., Kajiwara, T., Hiranuma, Y., Tamaoki, S., Nakamura, K., Asakura, Y., Nakanishi, R., Katoh, E. and Watanabe, M., '[Transtrochanteric rotational osteotomy for the treatment of non-traumatic osteonecrosis of the femoral head]'. *Clin Calcium*, 2007, 17 (6):923-930.

分担研究者:岩本幸英

- Nishida K, Yamamoto T, Motomura G, Jingushi S, Iwamoto Y. Pitavastatin may reduce risk of steroid-induced osteonecrosis in rabbits: a preliminary histological study. *Clin Orthop Relat Res* 2008;466:1054-8.
- Motomura G, Yamamoto T, Miyanishi K, Kondo K, Hirota Y, Iwamoto Y. Risk Factors for Developing Osteonecrosis After Prophylaxis in Steroid-treated Rabbits. *J Rheumatol* 2008.
- Motomura G, Yamamoto T, Irisa T, Miyanishi K, Nishida K, Iwamoto Y. Dose Effects of Corticosteroids on the Development of Osteonecrosis in Rabbits. *J Rheumatol* 2008.
- Miyanishi K, Yamamoto T, Irisa T, Yamashita A, Motomura G, Jingushi S, et al. Effects of tacrolimus (FK506) on the development of osteonecrosis in a rabbit model. *Immunopharmacol Immunotoxicol* 2008;30:79-90.
- Yamamoto T, Schneider R, Iwamoto Y, Bullough PG. Histopathologic prevalence of subchondral insufficiency fracture of the femoral head. *Ann Rheum Dis* 2008; 67: 150-3.
- Miyanishi K, Hara T, Kaminomachi S, Maeda H, Watanabe H, Torisu T. Contrast-enhanced MR imaging of subchondral insufficiency fracture of the femoral head: a preliminary comparison with that of osteonecrosis of the femoral head. *Arch Orthop Trauma Surg*. 2008 in press
- Ikemura S, Yamamoto T, Jingushi S, Nakashima Y, Mawatari T, Iwamoto Y. Recurrent Transient Osteoporosis of the Hip. *Eur J Radiol Extra*. 2008; 66: e65-e69.
- Matsushita A, Nakashima Y, Jingushi S, Yamamoto T, Kuraoka A, Iwamoto Y. Effects of the Femoral Offset and the Head Size on the Safe Range of Motion in Total Hip Arthroplasty. *J Arthroplasty* 2008.
- Yoshida T, Sakamoto A, Iwamoto Y. Vascularized Iliac Bone Graft in Cases of Ankle Tuberculosis. *J Reconstr Microsurg* 2008.
- Yamamoto S, Tanaka K, Sakimura R, Okada T, Nakamura T, Li Y, et al. Suberoylanilide hydroxamic acid (SAHA) induces apoptosis or autophagy-associated cell death in chondrosarcoma cell lines. *Anticancer Res* 2008;28:1585-91.
- Ueda T, Naka N, Araki N, Ishii T, Tsuchiya H, Yoshikawa H, et al. Validation of radiographic response evaluation criteria of preoperative chemotherapy for bone and soft tissue sarcomas: Japanese Orthopaedic Association Committee on Musculoskeletal Tumors Cooperative Study. *J Orthop Sci* 2008;13:304-12.
- Tashiro Y, Miura H, Nakanishi Y, Okazaki K, Iwamoto Y. Evaluation of Skills in Arthroscopic Training Based on Trajectory and Force Data. *Clin Orthop Relat Res* 2008.
- Takenaka S, Ueda T, Naka N, Araki N, Hashimoto N, Myoui A, et al. Prognostic implication of SYT-SSX fusion type in synovial sarcoma: a multi-institutional retrospective analysis in Japan. *Oncol Rep* 2008;19:467-76.
- Sakamoto A, Yoshida T, Uchida Y, Kojima T, Kubota H, Iwamoto Y. Long-term follow-up on the use of vascularized fibular graft for the treatment of congenital pseudarthrosis of the tibia. *J Orthop Surg* 2008;3:13.

- ♦ Sakamoto A, Tanaka K, Yoshida T, Iwamoto Y. Nonossifying fibroma accompanied by pathological fracture in a 12-year-old runner. *J Orthop Sports Phys Ther* 2008;38:434-8.
- ♦ Sakamoto A, Jono O, Hirahashi M, Oya M, Iwamoto Y, Arai K. Epithelioid sarcoma with muscle metastasis detected by positron emission tomography. *World J Surg Oncol* 2008;6:84.
- ♦ Sakamoto A, Iwamoto Y. Current status and perspectives regarding the treatment of osteo-sarcoma: chemotherapy. *Rev Recent Clin Trials* 2008;3:228-31.
- ♦ Okada A, Mochizuki S, Yatabe T, Kimura T, Shiomi T, Fujita Y, et al. ADAM-12 (meltrin alpha) is involved in chondrocyte proliferation via cleavage of insulin-like growth factor binding protein 5 in osteoarthritic cartilage. *Arthritis Rheum* 2008;58:778-89.
- ♦ Oda Y, Kohashi K, Yamamoto H, Tamiya S, Kohno K, Kuwano M, et al. Different expression profiles of Y-box-binding protein-1 and multidrug resistance-associated proteins between alveolar and embryonal rhabdomyosarcoma. *Cancer Sci* 2008;99:726-32.
- ♦ Moro-oka TA, Hamai S, Miura H, Shimoto T, Higaki H, Fregly BJ, et al. Dynamic activity dependence of in vivo normal knee kinematics. *J Orthop Res* 2008;26:428-34.
- ♦ Mizu-Uchi H, Matsuda S, Miura H, Higaki H, Okazaki K, Iwamoto Y. Three-dimensional Analysis of Computed Tomography-Based Navigation System for Total Knee Arthroplasty The Accuracy of Computed Tomography-Based Navigation System. *J Arthroplasty* 2008.
- ♦ Miura H, Takasugi SI, Kawano T, Manabe T, Iwamoto Y. Varus-valgus laxity correlates with pain in osteoarthritis of the knee. *Knee* 2008.
- ♦ Mawatari T, Miura H, Hamai S, Shuto T, Nakashima Y, Okazaki K, et al. Vertebral strength changes in rheumatoid arthritis patients treated with alendronate, as assessed by finite element analysis of clinical computed tomography scans: A prospective randomized clinical trial. *Arthritis Rheum* 2008;58:3340-9.
- ♦ Matono H, Oda Y, Nakamori M, Tamiya S, Yamamoto H, Yokoyama R, et al. Correlation between beta-catenin widespread nuclear expression and matrix metalloproteinase-7 overexpression in sporadic desmoid tumors. *Hum Pathol* 2008;39:1802-8.
- ♦ Kohashi K, Izumi T, Oda Y, Yamamoto H, Tamiya S, Taguchi T, et al. Infrequent SMARCB1/INI1 gene alteration in epithelioid sarcoma: a useful tool in distinguishing epithelioid sarcoma from malignant rhabdoid tumor. *Hum Pathol* 2008.
- ♦ Imamura T, Imamura C, McAlinden A, Davies SR, Iwamoto Y, Sandell LJ. A novel tumor necrosis factor alpha-responsive CCAAT/enhancer binding protein site regulates expression of the cartilage-derived retinoic acid-sensitive protein gene in cartilage. *Arthritis Rheum* 2008;58:1366-76.
- ♦ Hamai S, Miura H, Higaki H, Matsuda S, Shimoto T, Sasaki K, et al. Kinematic analysis of kneeling in cruciate-retaining and posterior-stabilized total knee arthroplasties. *J Orthop Res* 2008;26:435-42.
- ♦ Akasaki Y, Matsuda S, Shimoto T, Miura H, Higaki H, Iwamoto Y. Contact stress analysis of the conforming post-cam mechanism in posterior-stabilized total knee arthroplasty. *J Arthroplasty* 2008;23:736-43.
- ♦ Yamamoto, T., Nakashima, Y., Shuto, T., Jinguishi, S. and Iwamoto, Y., 'Subchondral insufficiency fracture of the femoral head in younger adults'. *Skeletal Radiol*, 2007, 36 Suppl 1:S38-42.
- ♦ Yamamoto, T., Schneider, R., Iwamoto, Y. and Bullough, P., 'Histopathologic prevalence of subchondral insufficiency fracture of the femoral head'. *Ann Rheum Dis*, 2007.
- ♦ Yamamoto, T., Schneider, R., Iwamoto, Y. and Bullough, P.G., 'Rapid acetabular osteolysis secondary to subchondral insufficiency fracture'. *J Rheumatol*, 2007, 34 (3):592-595.
- ♦ Ikemura, S., Yamamoto, T., Jinguishi, S., Nakashima, Y., Mawatari, T. and Iwamoto, Y., 'Use of a screw and plate system for a transtrochanteric anterior rotational osteotomy for osteonecrosis of the femoral head'. *J Orthop Sci*, 2007, 12 (3):260-264.